10月2日 日曜日 1日発行

昭和30年 西暦1955年

内外タイムス

THE NAIGAI TIMES

発行所 内外タイムス社
東京都中央区銀座3の5
電話 代表 京橋(56)8646番
直通 販売(〃)0437 広告(〃)3995
編集局 港区芝金杉川口町13
電話 代表 三田(45)8136番
振替貯金口座 東京170071番

第3235号（昭和24年6月27日第三種郵便物認可・昭和24年5月27日国鉄特別扱承認 第232号）
（中華郵政台字第637号執照登記為第一類新聞紙類・内政内部証報台警字第0136号）

あすの暦 10月2日・日 旧8月17日 月齢 15.9 日出 前5.36 日入 後5.25 月出 後5.22 月入 前5.47 満潮 前5.25 後5.25 干潮 前11.35 後11.50（大潮）

天気予報 今晩 北の風曇後半晴。明日 北の風晴、気温平年並み。

今暁新潟市に大火

中心部を総なめ
強風下、千百戸を焼失

市役所、郵便局など

新潟市大火見取図

【新潟発】一日午前三時十分ごろ新潟市医学町二新潟県庁分館（県教育庁）から出火、風速十五―二十メートルの強風下に火勢は急速にひろがり、勧銀支店、小林デパート、大和デパート、新潟日報社、新潟市役所、県信連など市内中央部の主要建物を含め県庁前から万代橋までの市の中心部十万坪千百戸を全焼、七時間二十分にわたって市内の目抜き通りを焼き払い、同十時半ようやく鎮火した。原因は県警本部の調べによると出火場所の県庁分館入口の電線が強風でスパークして出火したとみられる。

最初教育庁から出た火はまず隣接の米国文化センターに燃え移り、たちまち付近の民家を焼き払うとともにアッという間に東仲通りの道路を越えて新潟日報、共同通信支局、富国生命などの建物を焼き、再び医学町方面に飛火した。火はさらに猛威をふるって銀冶小路、寺裏町、西堀一、二、三丁目を焼き払い、西堀五の小林百貨店と小路を隔てた市役所を全焼、市内大通りの柾谷小路両側、新潟の銀座街・古町商店街に延焼、新潟市の最繁華街にある古町十字路の大和百貨店、住友銀行新潟支店などをはじめ付近一帯を焼き尽した。

主な焼失建物

教育庁、小林百貨店、市役所、小林映画劇場、ラジオ新潟スタジオ、CIC文化センター、県経連、新潟日報、共同通信支局、安田火災支店、住友生命支店、三菱銀行支店、大和百貨店、新潟郵便局、住友銀行支店、新潟税務署、新潟商工会議所、県信連、県教組、第一銀行支店、交通公社、農協、千代田生命支店、日経支局、興銀支店、日動火災支店、丸新石油倉庫、出光興産支店、竹山病院、大映劇場、新潟タクシー、三井銀行支店。

焼失町名

医学町二、旭町一、同二、東仲通り、南横堀町、営所通り一部、寺裏通り一部、西堀四の一部、西堀五、六、西堀前五、六、七、古町五の一部、古町六、七、東堀五の一部、同六、七、東堀前六、七、本町六、七、礎町、三之町の一部、四之町、下大川前三

罹災者は意外に僅少

[illegible]族は次のようにそれぞれ近所の学校や縁故先に避難した。▽白山小学校二十四世帯▽寄居中学校七十二世帯▽計百三十六世帯、他は縁故先に避難。

災害対策本部を急設

新潟県は大火発生にともない一日午前四時三十分災害救助法を発動した。また同日朝新潟大火救助対策本部が県知事室、警戒本部は県警本部長室に設けられた。

最初の発見者談

火災原因は目下調査中だが最初の発見者新潟県庁守衛角田光司さん（五七）は次のように語った。

[illegible]

戦後五回目の大火

新潟市では戦後だけでも二十四年二月東堀船通九番地五百戸、二十六年十一月旭町五百八十坪、二十八年五月山下町千百四十四坪、二十九年三月上大川前通千五百四十一坪、同年四月関屋下ケ原二千三百坪と五回も大火に見舞われている。

仙台駅も焼く

【仙台発】一日午前六時十分ごろ仙台駅本屋中央部の天井付近から出火。（モルタル塗り）の天井張板約三百坪、日本食堂従業員休憩室の一部などを焼き同六時五十分鎮火した。原因、損害仙台北署で取調べ中だが漏電らしい。

猛火狂う新潟市 燃える中心街＝長岡電送

災害救助法を発動
政府、救援に万全措置

新潟市の大火を重視した政府は一日直ちに関係官を現地に急派するとともに災害救助法を発動、情況判明次第関係各省で万全の救助対策を講ずるむね申合せた。

根本官房長官談

根本官房長官は一日、新潟市の大火に対する政府の措置について次のように語った。

政府は関係各省の報告を待って必要な措置をとる。災害の状況から考えて当然災害救助法を適用することになるだろう。

厚生省から救援物資

厚生省は新潟の火災にたいし災害救助法を発動するとともに、救済対策を指導するため、一日正午樋口事務官を現地に派遣、また被災民にたいし地元の要請により舞鶴引揚援護局に保管中の被服、毛布などの救援物資を急送した。

日赤から衣料など

日赤本社は一日朝新潟大火救援物資としてシャツ上下千着分、タオル千本、カン詰千五百個を現地に急送した。また葛西副社長、高木社会部長が現地に急行した。

大蔵省 応急資金措置を督励

大蔵省は緊急措置として日銀に対し、日銀新潟支店への現金輸送を督励、預金払い戻し、損害保険金の支払いなどに万全を期している。大蔵省によれば新潟市の銀行預金残高、損害保険契約高はそれぞれ百億円程度、その他相互銀行、信用金庫などを含めると、火災による資金の需要は損保二十億円（損保協会推定）はじめかなりの額に達する見込みである。このため市中銀行などは預金者が本人であることを確認できれば、できるだけ払い戻しに応じている。

新聞は世界平和の原子力

新聞週間標語

余剰農産物協定 仮調印終る

【ワシントン三十日発＝共同】総額六千五百八十万ドルの第二年度日米余剰農産物協定は、三十日午前十一時（日本時間十月一日午前一時）米国務省内で井口駐米大使とカリジャヴィ米国務副次官補によって仮調印された。

松本全権、外相に帰国報告

松本全権は一日午前十一時十五分外務省に重光外相を訪ね帰国の挨拶をのべるとともに、日ソ交渉の経過を報告、滞日中の段取りについて話し合った。

外務省大臣室に重光外相㊨を訪ね帰国のあいさつを行う松本全権

海外基地査察に米同意か

【ワシントン三十日発UP＝共同】米消息筋が三十日語ったところによれば、米国はさる十九日ブルガーニン・ソ連首相がアイゼンハワー米大統領あての書簡で表明した懸念に応えるため、世界的に空中査察を行う計画を支持する用意があるといわれ、米国の海外基地もその対象に含まれることになる

ないがい川柳 吉田林司選

横綱が無事でカメラマンがひま　江東 宮内 塔郎
殿若湯通夜の和尚はよくしゃべり　大田 根本 松翠
関取りの手型すしやで額になり　市川 凡峰
アベックが人出に離れまいと汗　神奈川 北村 やなぎ
洗濯機ミキサーテレビ招く稲　中央 敏夫
仲見世も静けさにある朝の色　新宿 斎藤 耕月
老人の日を差毛でいたわられ　浅草 柳 金太

内外抄

きょう全国一斉に国勢調査、これからの国の建て方の土台となるもの。全国民は協力せよ。

◇

『赤い羽根』の運動がきょうから始まる。『都民の日』などなど多事の十月一日は『好日』

◇

松本全権帰国談をしぼると領土問題にしぼられることになる。さらに『南千島』にしぼろう。

◇

余剰農産物仮協定、もて余しものを買うに買いいそぎした順馬、それが売出し政治家だってね。

◇

新聞は世界平和の原子力 同時に『新聞はその日その日の米の飯』大衆の良い糧になるように。

市況 底固い

一両日大巾なもどりを示したあとだけに休日控えかたがたおおむね買気一服の形だが引続き一般は品薄状態にあるため目立った利食売はみられず、一方緩慢ながら根強い物色買が部分的に続いているので市況は小巾保合のうちにも概して底固い成行きを示している。特定株は融資残が久し振りに三十億円台を割ったものの買気に乏しく小口の売物に押されてほとんど一、二円安と小甘い。雑株は一両日買われた食品、資源、諸工業株の一部などの小反発はじめ全般に小安いものが多いが、電機株の一部に買気続いて小確りのほかカルピス、宇部興産、三洋電など散発的に物色されて高いものもあり地合は依然底固い。

▽安い株＝白木屋十四円、横浜糖六円、服部時計、シチズン、古河鉱、住友海、大東京火、北海かん、三井不五円

▽高い株＝カルピス十五円、三洋電八円、松下電工、宇部興六円、大平炭、東北電、日鉄化、東洋罐五円

東京株式仲値

新株落△配当落（1日終値）

銘柄	値	銘柄	値	銘柄	値	銘柄	値
				倉レ	103	小西六ロ	101
				旭化成	377	カボン	36
				山陽パ	123	三井物ロ	130
特定銘柄		信越化	82	日本パ	110	第一物	128
東海上	253	東高圧	136	国策パ	124	白木屋	255
郵船	63	昭電工	98	東北パ	107	高島屋	86
新三菱	76	日本曹	95	大東紡	95	日活	72
日清紡	268	旭電化	—	商船	51	松竹	206
味の素	278	三菱造	88	三井船	52	東宝	1305
三越	306	三井造	117	飯野海	61	大映	200
三菱地	513	三菱重	63	西武	379	日本粉	135
平和不	209	石川重	91	藤田興	223	日清粉ロ	127
三井金	116	[illegible]工	135	東京ガ	79	日本ビ	169
三菱金	117	東洋ベ	113	東電	563	朝日ビ	179
日鉱	112	日立造	58	日銀	—	キリン	200
住友金	119	浦賀	59	東銀	56	宝酒造	112
三菱鉱	56	日平	19	三井銀	75	台糖	259
古河鉱	93	古河電	71	富士銀	89	明糖	131
同和鉱	129	日立製	74	日証金	85	甜菜糖	127
住友炭	70	東芝	65	安田火	108	野田醤	194
三井山	73	三菱電	74	大正海	100	森永ロ	190
北海炭	73	小松	51	住友海	88	明菓	181
東邦亜	64	日本光	132	千代田	76	日水産	89
帝石	77	キヤノ	151	[illegible]	77	昭和産	102
日石	111	東京光	35	日製鋼	65	東洋醸	84
昭和石	132	東洋紡	160	八幡鉄	59	合同酒	142
東燃	131	鐘紡	137	富士鉄	51	三楽	124
三菱石	134	富士紡	122	神戸鋼	52	大阪糖	173
大協石	129	大日紡	92	日特鋼	114	王子紙	229
日東化	85	日東紡	61	日軽金	186	十条紙	250
日産化	73	片倉	39	日金工	75	本州紙	84
三菱化	96	東邦レ	111	日セメ	161	三菱紙	89
三井化	126	帝麻	45	磐城セ	266	北越紙	61
協和醗	119	中繊	50	小野田	87	三井不	825
東合[illegible]	127	帝人	148	横浜ゴ	151	三井倉	95
三共薬	169	東洋レ	189	旭硝子	163	渋沢倉	80
		三菱レ	127	富士写	144	東洋埠	195

政界春秋
筋を通せ・筋を通せ
木村篤兵衛

[illegible]

粋人酔筆
駄犬
矢野目源一

[illegible]

で、コレと見当をつけたら、相手が身を開くまで、昼夜の別なく、飯もくわずにへばりついていて、水をぶっかけられようと、丸太ん棒でどやしつけられようと、不退転の決意を固めている。そしていつか隠密のうちに望みをとげるのである。

実際、メスの方としたら貴族的にツンとすましながら、情をかけてやろうかという態度よりも、ヨダレをたらし、眼を見すえて、迫りに迫る駄犬の方がメスの情感に訴えるのであろう。

ネバリにネバル。これがひけつらしい。お魚の世界でも同じようなのがある。コイに似た魚で海中にセイソクするものにそんなのがある。まず雄と雌が鼻と鼻とをつきあわせて、まるでキッスのしとおしのようにして、一緒に泳いでいる。ときとすると一時間にもおよぶ。そこへ第二の雄が不意に現われ、一直線になって雌雄合している口さきに、自分の口を押しあてて、それを垂直に位する。こうして夫妻、姦夫の三人の世帯はなおも長いこと泳ぎつづける。そのうち第一の雄は、あきてくる。第二の雄が代って雌と相対峙する。もしも第三の雄がそこへやって来たら、第二の雄がしたようにすることだろう。まず最初は直角に位して次いで前任者の持場に直り、雌と鼻と鼻をつきあわせて、恋焦れの嘆息をつく。ひどくがんばりの利く求婚者にねばられて、根負けしてしまった雌は、とうとう終いには、おのが卵を排卵することを承諾するにいたるのである。

人間の世界にも駄犬やこの魚に似たようなのがいるはずである。はずであるどころではなく、私の家の親類の娘にも同じようなのがあった。ある男にねばりにねばられて、あんまり色よい返事もしないでいるうちに、一緒になれなければ一緒に死んでやるといって、その美人の娘を防波堤から突き落して、自分もドブンと飛びこんだものである。娘の方も怖くなったのか、面倒くさくなったのか、ついに結婚を承諾して、今では子供がいるのである。

駄犬式求愛法というのは、お金もないし、男前もよくない青年が、もって範とするに足るものではないだろうか。そう思えば何も劣等感で自ら苦しんで世をハカナムにも当るまい。フランスの粋人モーリス・マアグルという人の書いた恋愛術を読むと、恋人が欲しかったら二十人の女を口説いてみることだ。一割の歩止りでも二人はできるではないか、とけしからんことを教えている。しかし、そんなのは結局、人間のメス駄犬をしょいこみ、一生涯相妻に甘んじなければならないのがオチである。

青春無宿（144）
大林清 作　下高原健二 画

◇国際密輸団である安南人ヴァルマン一味に監禁された光代は次郎によって[illegible]郎はその交換条件として父の元伯爵手田の書類に署名しなければならなかった。それは莫大な資金をひき出す書類である。◇助かった次郎にも相変らず幸福は待っていなかった。光代も追い立てられている実家、病身の母親を抱えて苦しんでいた。光代のそこにつけ込んで勤め先のバーのマダム千子の情夫菅野が無理やりに五万円の小切手を与えて、彼女を上野の怪しげな旅館に連れ込んだ。

深渕に立つ（五）

菅野にいどみかかられると、ためらいながらもここへやって来た光代の覚悟は、跡方もなく消し飛んでしまった。もし小切手を母親に渡してさえいなかったら、声をたてて救いを求めただろう。

『馬鹿ッ、暴れるんじゃない！』

押し倒されてもまだ必死に抵抗する光代へ、菅野は浴衣の胸をはだけて、のしかかろうとした。

光代は菅野の胸といわず顔といわず、死にものぐるいで掻きむしった。菅野がそれにひるむ隙に、跳ね起きて逃れようとしたが、いきなり背後から頬へ平手打ちを食うと、クラクラッと眼がくらんだ。

菅野の腕が首へ食いこんで、またうしろへひきずり倒された。息がつまり、気が遠くなりかけながらも、はげしく手足をバタつかせて起きあがろうとあせった。

はじめは手心をしていた菅野も、今は本気に力を出していた。嵐のようにはげしく呼吸をはずませながら、光代の腕をつかんで膝の下へ敷き、まだ自由な一方の腕を後へ捻じまげようとした。

それでも光代が抵抗をやめないでいると、大きな拳をおどらせて、つづけさまに左右の頬を打ちすえた。

光代はふたたび気が遠くなりかけ、もう駄目だと思った。と、菅野のからだが石のようにのしかかって来て、その喉から異様なうめき声が洩れた。

光代は両手の自由をとりもどし、渾身の力をふりしぼって、覆いかぶさっている菅野を突きのけると同時に、壁にすがりながら立ちあがった。次の間への襖際まで夢中で逃れた。

が、襖へ手をかけようとして、ふと不審を感じた。今まであれほどはげしく挑んだ菅野が、跳ね起きて躍りかからないのだ。

光代は振りむいて見た。一瞬呼吸をとめ、眼をすえた。

菅野は光代が突きのけた場所にまだ腹ばっていた。浴衣の衿は片肌ぬいだ格好にはだけ、頬の片側を畳へすりつけて、起きあがろうとあせる姿のまま動かずにいるのだった。力瘤の盛りあがったその肩も、呼吸をきざんではいないように見える。

光代は凝結したように眼をすえていたが、突然はげしい恐怖を背筋へはいあがらせ、あわただしく襖をあけて、次の間へ逃れた。だが、菅野はやはりおなじ姿勢のままでいた。

光代は廊下との仕切りの襖の、かたくかけられていた鍵をはずした。そうすると、いくらか落着きがもどって来た。

足音を忍ぶようにして、もう一度恐るおそる奥の間へはいってみた。

菅野はまだ微動もしていない。掻きむしるような格好の両手の爪が、畳の目へ食いこんで見えた。

光代は膝頭を慄わせながら、更に一、二歩前へ出た。

するとそれまでちゃぶ台の端に隠されていた菅野の顔が見えた。

『きゃーッ！』

光代はつんざくような悲鳴をあげ、次の間へ走り出ると、襖へ手をかけたまま膝をついてしまった。

光代が見た菅野の眼は、ガラス玉の義眼のように動かなかったのだ。

恋の太平洋航路

祝福あれ三つの国際結婚

ニュース鏡

いまをトキめくファッション・モデルの人気女王、八頭身美人が、揃いも揃って国際結婚にゴールインし、同じ日同じ場所でお披露目して華やかな話題をまいた。岩間敬子さんは二十違いのフェントン・E・ワイナンスさんと四年間にわたる友愛結婚。田中富士子さんは八つ年上のウェリントン・M・グエンさんと。そして二十七年度のミス日本小島日女子さんは、お祖父さんと孫ほど違う四十三も年上のベンジャミン・アドラー老と結ばれ、三人三様日本版“足ながおじさん”にも似たコースを踏んだ。歌実的には最も尖端をゆき、年齢的にも若い二十代のこの三女性が“若い日本の男性を退けて、どうしてこのような変ったお婿さんを選んだか。”それが時代さ”といえばそれまでだが、ただ一ついえる真実は『近代女性の愛情は、国境を越え、年齢にこだわりなく突進してゆく』ということだ。そこで、当のご本人達の新家庭を訪問して“新婚の弁”を聴いてみた。

岩間敬子さん(25) ワイナンス氏(45)

とてもよい“おじ様”

明春は米国へ

◇去る二十三日、四谷チャペルセンターの結婚式場で、頬を紅潮させながら岩間さんは『私の場合は、つき合って、つき合っていていい人だと思ったの、その累積がこんなことになったんです』と語った。その四年間の累積とは——現在、東京ファッション・モデル クラブ会長の肩書をもつ彼女が、本格的にモデルに第一歩を踏みだしたのは二十六年十月、田村町二丁目角にあった服飾店ロジャースの専属モデルになってからのことだった。そして四年間の累積の事実はこのときからはじまった。というのはロジャースは米人バイヤーの共同経営だったが新郎ワイナンス氏もまた副社長の地位にあったからだ。

◇本土と日本の他にハワイ、沖縄、香港、台湾、韓国に支店をもっていた彼氏は、始終飛び歩いていたが、彼が帰京するごとに一緒にモデルで入った井村はるみさんらと迎えにでたものだった。この出迎えはロジャースが閉鎖になってからも続けられ、また彼女は誘われるままにナイトクラブ、ラテンクォーター、マヌエラにも一日の疲れを忘れたように踊りはしゃぐ二人でもあった。

◇こうした二人の友達にも似た交際は当然ジャーナリズムの眼につかぬはずはない。二十九年春早々紙に派手にゴシップとなって書き立てられたが、このゴシップによって“嘘からでたまこと”のたとえどおり、友情から愛情へと移行しはじめ、今年に入って間もなくマヌエラへ彼女を誘ったワイナンス氏は結婚のプロポーズをした。いつかはあることと胸の中に考えた彼女も、プロポーズの言葉をわが耳にきくと、さすがに身内の固くなるのを覚えたという。

◇その夜早速、母と姉に相談をもちかけたが母の答えは予想どおり『反対はできないけど、何も外人と結婚するなんて…』と反対の意思表示だった。彼女自身『うちの母には同じ日本人と結婚したらどんなに喜ぶだろう』と思いはしたが、反面彼女にもいい分はあった『日本の男性には少くとも現在、誰一人おまだ一抹の疑念があった。親身の相談相手のない彼女はこの春いらい五回も占い師のもとに通った。ファッション・モデルと占い師。おかしな対照だが、卦の結果は“吉”と出た。いや、それにもましてワイナンス氏の人柄を繰返し考えてみると、彼女の胸に浮かぶものはただ“いい人、好ましい人”以外の結論はなかった。彼女が正式に結婚の承諾をしたのは九月十五日。そして二十三日には晴れの結婚衣裳を着たのだった。

◇『明春、ワイナンスと一緒にアメリカ本土へ行きます。一年ほどみっちり勉強をしたうえまた日本に帰って、モデル岩間敬子として可愛がってもらうつもりです』と彼女は語った。傍で夫君ワイナンス氏がやさしくうなずいていた。

上 岩間敬子さんとワイナンスさんの新婚家庭風景

田中富士子さん(22)とグエン氏(30)

奇蹟の邂逅二回

縁結びは岩間さん夫妻

◇二人のロマンスの結び神は外ならぬ岩間敬子・ワイナンス夫妻その人である。彼女は日劇ダンシングチーム七期生だが、二年後病のため舞台から身を引き、友人のすすめで二十八年岩間さんを会長とする東京ファッション・モデルクラブに所属した。花婿のグエン氏はロサンゼルスの出身、父と兄は共に弁護士で、彼もまた父の業を継ごうと大学で法律を専攻したが、四年前、観光客の一人として日本を訪れたとき、日本永住を決心して帰国、ロサンゼルスに“ウェリントン・ライター会社”を設立して一年後にふたたび日本の土を踏んだ。

◇彼女がモデルになって間もなく岩間さんに誘われてワイナンス氏のパーティに出席したとき、ちょうどいあわせたグエン氏に紹介された。その後『あとでマス・イヴの日、招かれた大崎のグエン氏邸で『明日、貴女のお父さんに会いに行ってもよいですか？』と突然切りだされた。ただび会った二人は『お互いに理解し合うまで交際をつづけましょう』と清い交際を約束した。考えると神様の導きでもあるかのように銀座七丁目で二度、それから丸ノ内で一度、奇蹟的にお会いした…』ことが二人の愛情を急速に発展させる直接の動機となったらしい。

◇交際しはじめてから一年もたったろうか。二十九年クリスマス・イヴの日、招かれた大崎のグエン氏は『結婚は本人の問題です。娘に聞いてみましょう』と割り切った態度であった。一間後ふた。翌日彼は西荻窪にある彼女の家へ車を飛ばした。そして父久一氏の説得にかかった。久一氏は『結婚は本人の問題です。娘

◇去る九月もはじめのことだった。珍しく岩間・ワイナンス・田中・グエンの二つのカップルがマヌエラに会して食事していると突然ワイナンス氏から岩間さんとの結婚のことを打ちあけられた。すでに心に決めていた彼女にもその場でグエン氏に結婚の承諾を与え、日取りも岩間・ワイナンス組と同じ二十三日午後三時半、式場も同じくチャペルセンター、披露宴は帝国ホテルのピーコックルームと決めたのだった。『家庭と職場の両立って、私にできないような気がするの。それに子供は女の子二人に、男の子二人位い欲しいと思ってんの…』とはにかみながらも無邪気な彼女である。しかし彼は黙ってうなずいていた。

上 ご両人ともお若いだけにとても甘いあまい田中さん夫妻

小島日女子さん(23)とアドラー氏(66)

“かわいい子鳩よ”

60年、きみ待つこと久し

◇九月二十一日、いつもいかめしい姿を見せて日比谷の一角に構えている帝国ホテルもこの日ばかりは華やかな、そしてきらびやかな人々に醸しだされた幸福なふん囲気で一杯に包まれていた。式場では小島さんとニューヨーク一の綿花業者ベンジャミン・アドラー氏との華燭の典が挙げられていたのだ。新婦小島さんは二十七年六月ロングビーチで開かれたミス・ユニバースコンテストに第一回ミス日本として出場、五尺六寸、十五貫の近代的美人として脚光を浴びた人。そして新郎ベンジャミン氏は『ベンジャミン・アドラー綿花会社』の社長さんで百万ドルの財産家。

◇二人の近づきは二十八年東京で行われたガーデン・パーティの席上、はじめて顔を合せた。しかしこのとき小島さんの眼には、まさかこの人がニューヨーク一の綿花業者とも知らなかったし、ただ一人の好々爺としてしか映じなかった。二度目の会合は小島さんがミス・ユニバースで渡米した翌年、ミルス・カレッジ在学中、そして三度目はニューヨーク大学で、たまたま小島さんが習ったピアノの先生がアドラー氏の兄で、著名な音楽家クラーレンス博士だった。二人の友愛以上のものが燃えはじめたのはこのときからだった。

◇帝国ホテルの式場で、アドラー氏は『どうしていままで独身を守りとおしてきたのか？』と聞けば『日女子が、いなかったからサ』と純白のウェディング・ドレスに身を包んで傍らに控えた小島さんを、眼の中へ入れても痛くないといった表情で軽く冗談をとばす今年六十六才の新郎でもあった。

上 帝国ホテルの小島さん夫妻

幸福は理解と努力の上に！

石垣綾子さん談

石垣綾子さん

◇三つの[illegible]……う三つの土台石の上に立脚しなければなりません。ですから結婚のスベりだしから、その喜びと希望に酔うことなく理解と努力に日を送るべきです。

◇この春は高峰、柴田、榎本さんと三十代の方たちが違った形の結婚で話題となりましたが、揃って日本人をお婿さんに選んだのに比べて、こんどの三人の方は対照的にいずれもアメリカ人を選んでおります。人によっては物の考え方に対する年代の相違というかも知れませんが、私は結婚はあくまで個人の問題であり、年代によって割り切られるものではないと思います。ましてファッションモデルの岩間さんと田中さんの場合はもし日本の男性が彼女たちに好意をもったとしても、経済的に相当の覚悟が必要でしょうし、職業柄、外人のパーティなどに招かれる機会が多いと聞きますから、こんどの三つの国際結婚はあらゆる要素から割りだされた必然的な結果とみるべきではないでしょうか…。

鉄流世界譚

……（日本）……

正夫君はこの間まで[illegible]だったのですが、いわゆる『高校三年』になったり、十代の社交場たる喫茶店、お好焼屋、スケート場などで羽振りをきかせ、最早手のつけられない[illegible]となりましたが、その上マンボ仲間の一人、良子さんとはとくに親しくつき合ったが、上には上があるで、彼女、正夫君に隠れて他のマンボ・ボーイと密になっていました。これを知らぬ正夫君が彼女を訪ね出すと、現われた良子さんは両手に一ぱいの手紙の束を持ち[illegible]。これをみた正夫[illegible]『いかい、僕[illegible]に？』といったら『いいえ、あなたから来た分よ。お返しするわ』これにはマンボの正夫君も今更ながら長年の悪夢からさめた思いでありました。やがて補導にひっかかり、係官にザンゲをしているところへ飛んできた父親が、『申訳けありません。息子を放任していた家庭がいけなかったのです。このオヤジの罪です』とわびると、側で正夫君が痛み加減のあらぬ方を押さえながら小さな声で『いいや、このセガレの罪です』

モダン歳々記

人身売買の禁令

明治五年十月二日、太政官令第二百九十五号で明治政府は人身売買の禁令を発布した。これは当時としては驚異的な英断で、売春業者には青天のへきれきだったのである。お陸でこの布告を後の娼妓の自由廃業運動のとっこにとって実行したのだった。

『人身ヲ売買致シ、又ハ年期ヲ限リ、其主人ノ存意ニ任セ、虐使致シ候ハ人倫ニ背キ有マジキ事ニ付古来制禁ノ処、従来年期奉公等、種々ノ名目ヲ以テ奉公住為致、其実売買同様ノ所業ニ至リ、以テノ外ノ事ニ付、自今可為厳禁事』以下五条で『娼妓芸妓等年期奉公人一切解放可致、右ニ付テノ貸借訴訟総テ不取上候事』とあるから業者は驚いた。

しかしこの処置は必ずしも道徳的発意からでなく、同年六月ペルーの汽船マリア号が中国人の奴隷二三一名をのせて横浜へ寄港中、その一人が脱船して英艦に救けられ、人身売買の実状を訴え、これが解放を領事団と神奈川県が扱ったが、日本は芸娼妓という人身売買を公許しながら、他国の奴隷売買に故障をいうのは不合理だという領事団の抗議への反証として、ここにこの人身売買禁止令が発令されたというわけなのであった。（鮭）

あすの運勢

＝十月二日＝　高島象山

▲一月生―物事に進めば災いあり退けば不利なり保守中庸に無難也
▲二月生―何事も信念を以て素志の貫徹に努力すれば予想以上効有
▲三月生―連日不安の気運漂うて不満ありしも今日は晴やかに至る
▲四月生―多角的に流れ自己を忘れ業を疎んじて失望損失を求める
▲五月生―何事も順調にして利達栄昌あり改革異動は一層幸福多し
▲六月生―辛苦を去り困難を脱し安心立命あるなり保守的によろし
▲七月生―気運低調にして思いに反し物事齟齬し易いから注意せよ
▲八月生―好機到来し予想以上の利達あり遠方より吉報をうるべし
▲九月生―物事平易に進展し稼業繁昌あるなり他意なく励めばよし
▲十月生―他動的の事に深か入りすると身を誤る慎重に進退すべし
▲十一月生―大事はよろしからず小事は望み叶うて有利なり旅行吉
▲十二月生―自然の成り行きに任せ心静かに活動すれば安全に至る

東海毒婦伝　青とかげ（85）

野沢純　土端一美画

【主要人物】◇おりう―女主人公。尾張屋の一人娘であるが、境遇の激変から、やがて徐々に変貌してゆく◇尾張屋喜兵衛―江戸の豪商。よろず派手好きな旦那。安政の地震で没落、あまつさえ頭を打って、気が変になる◇お直―尾張屋の後妻で、年増ざかりの多淫な毒婦。店の番頭とひそかに通じて不倫な愛欲をきわめている◇早瀬主水―娘おりうの意中の人。水戸藩の俊才で、藤田東湖の弟子。年若い美男侍◇清元菊千賀―おりうの師匠。尾張屋先妻の妹ともだち。胸の底では昔から、尾張屋喜兵衛を想っている◇お幾―おりうの乳母。尾張屋の忠義もので、没落以後は東海道三島の宿に戻って余生を静かに送っている◇与次郎―お直の甥で、料亭伊予松の道楽息子。やくざ者や不逞浪士と気脈を通じている、尾張屋騒動渦中の人物◇茜屋万兵衛―事件の黒幕。やげん堀の豪商で、悪らつ稀代な好色漢。尾張屋を倒壊せしめた上に、娘おりうを狙っている。

秋風帖（七）

豊吉の声音は、怒りにぶるくふるえていた。身はいかに落ぶれたとて、尾張屋の一人娘を前にして、

『身をまかせれば、父娘ともども引きとって、世話をしよう』

とはなにごとか。

あまりといえば無礼である。顔青ざめて豊吉は、茜屋を睨んだ。

『お嬢さん、帰りましょう！こんな汚らわしい処へ居る事はありません！』

茜屋を睨み据えたまま、おりうをその場に急き立てた。

『汚らわしいとは何の事だね？人の話しを立ち聞きする方が、よっぽど無礼でぶしつけだろう』

茜屋は、傲然と、さげすむようにうそぶいた。

豊吉はもう、聞いてはいない。おりうの手首を、しっかと握って、よろめくように部屋を出た。

すぐその背後から、馬鹿にしたような高笑いが、ぶちまけるように追って来た。口惜しさに豊吉は、ぐっと無念の歯がみをするばかりである。

夢中で料亭をとび出した。柳ばしを渡りきるまで、おりうの手首をまだしっかりと握りしめていた。

『お嬢さん——茜屋万兵衛のような男から、あんな事までいわれてどうして黙っていたんです！』

叩きつけるような口ぶりだった。

（黙っていたのは、身をまかせるつもりだったのか！）

と訊きかけたいのを、さすがに黙った。こらえているだけ、語気も荒い。

『お嬢さんに、もしもおかしな真似でもしたら、わたしはあの場で万兵衛を、殺してくれようとさえ思った！いっそ、殺してくれるんだった！』

豊吉の口から、これほど激しい言葉の漏れるのを聞いたことはない。

おりうは、びっくりしたように暫く黙って豊吉を見た。

『とよきち——そんなに怒ってみたって、仕方がないじゃないの』

『仕方がないとは何事ですか！あれほどの侮辱をされても、お嬢さんは腹が立たないんですか？』

往来で、立ち止らんばかりに、豊吉は向き直った。

『え？腹が立たないとおっしゃるんですか？』

『ばかね——そんなに大きな声を出して。人が何かと思うじゃないの』

事実、行き交う幾人かが、振り返って二人の姿を、けげんそうに眺めていた。

豊吉の目には、それさえ一向に映らない。

『お嬢さんは、ことと次第によっては、あの茜屋に、身をまかせるおつもりだったんですか！』

とうとうそれを、口に出してしまった。

『とよきち！』

さすがにおりうは聞き咎めた。

『いっていいことと悪いことがあるよ！』

顔色が、さっと変った。

青ざめた顔が、美しいだけにまた凄い。

『済みません、お嬢さん！とんでもないことを申上げました。でも豊吉は、口惜しかったのでございます。世が世なら——と思うにつけても、お嬢さまが、あ…あまりに痛わしかったからでございます。おゆるし下さい！』

神田川の流れに沿った片側町の、黄ばみかけた柳の幹に縋りつくまでな格好で、声を忍んで泣き立てる手代の姿はかそけくも吹き渡る秋風と共に、そぞろ乱れてあわれであった。

続 情炎の千代田城 (255)

岩崎栄　寺本忠雄画

親分の顔は七光り

新人監督・スターの運不運

映画界には大監督を中心にした何々一家だの、何々学校だのがある。それぞれ準専属的存在のカメラマンやらスクリプター、俳優たちを抱えているが、この親分の性格や権力がそれぞれにちがうから、子分たる助監督や俳優たるものの運命もまたさまざまに変って来る。例えば新人監督のデビューにしても、親方の力関係次第でシナリオからキ…

カチ合ったデビュー

恵まれた川頭、気の毒な番匠両監督

木下恵介　川頭義郎　中村登　番匠義彰　草笛光子

これは最近松竹大船にあった一つの例だが、たまたま木下恵介監督の弟子の川頭義郎（かわずよしろう）と、中村登監督の弟子番匠義彰（ばんしょうよしあき）の二人が、それぞれ『お勝手の花嫁』からその暦でデビューした。師匠同士は何れも故島津保次郎監督の兄弟弟子だ。ところが木下、中村両監督は性格やものの考え方が違う。一方が〝学校〟とよばれる一大勢力圏を支配しているのに対し、中村監督の方は一本撮り上げるとその組はサーッと散ってしまう。特にごひいきの俳優がいるわけでもない。一本々々別々の条件で勝負をやる。使いたい俳優であれば木下学校であろうと、小津巨匠ごひいきの連中であろうと、頓着なしにキャストを組むという風。いってみれば映画製作のやり方としては近代的なのだが、多分に封建的気分を残している映画界では必ずしもそれがプラスにはならないようだ。

のデビューにはキャストや脚本が大きくモノをいう。番匠監督が川頭監督に比べて社からことさらに冷遇されたということはないが、事実としては木下学校の力がモノをいって、デビュー早々から久我美子、佐田啓二、田村高広という一流スターを動員できたわけだ。ところが番匠組は原作こそ北条誠だが主役も川喜多雄二、鷹乃高子、淡路恵子という二流どころであるかどうか、あるいは社内にガマンせねばならなかった。同じデビューにしても親方が弟子思いであるかどうか、師匠の力関係如何でこうも条件が違って来る。同じ時期に第一回作品をとった二新人のこの差を見て、草笛光子が『これではあんまり番匠さんが気の毒だわ』と『花嫁はどこにいる』『修禅寺物語』の二本をかけ持ちで多忙の際だったが、自ら出演を買って出て、ともかく三、四シーンに、ギャラもうんと安く特別出演をしたものである。もっとも草笛は中村監督が育ての親だし、そのチーフをやっていたのがいまの番匠監督であったから、たぶんに義理立ての意味もあったろう。

とにかくこうしてでき上った作品は『お勝手…』の方が、有望な新人監督の小味な作品と話題にもなったのに比べ『からくめー』の方は、単なるプログラム・ピクチャーと人の口にも上らずに地方へ回ってしまった。もっとも地方ではこれが逆に『お勝手…』より成績を上げ、興収も予定よりずっと上回ったもので、番匠新監督に対する会社の評価も持ち直し、来月早々次の作品にかかるというから先ずはめでたいことではあるが。

羨まれた堀川監督

黒沢明　堀川弘通　成瀬巳喜男　寛正典　丸林久信

こういう例は東宝にもある。最近の好運児は『あすなろ物語』の堀川弘道監督だろう。彼の親分は名にし負う黒沢天皇で、この親分も木下監督同様、大変子分を可愛がる方だから、堀川監督もデビューに際しては念入りな脚本を貰った上、一緒にデビューの初名乗りを上げた丸林久信、寛正典の両監督に比べて撮影期日もタップリ取れるという好条件に恵まれ、それやこれやで本年に入ってデビューした新人監督では、松竹の川頭監督とともにもっとも有望視される人と見なされるに至った。寛監督は成瀬巳喜男の弟子だし、原作も広津和郎の『泉へのみち』ならキャストも有馬、根上、高峰（三）という顔ぶれをそろえてまだしも恵まれた方であったが、丸林監督になるとこれぞという師匠もなく、あちこちの組を渡った助監督生活だったから一番の貧乏クジで、おまけに作品も『雪の炎』と…

美人王国 神田ミナト

カスんだ宇治みさ子

本郷秀雄はカムバック

以上はデビューの運、不運であるが、師匠の監督が社を移ったために折角売れかかった新進スターがかすんでしまった悲劇もある。いま新東宝にいる宇治みさ子は田中春男の娘だが、最初新東宝にいた折、保証人株の渡辺邦男監督が引取って東映に入れた。東映京都で渡辺監督が撮りまくった作品にジャンジャン出たし、他の監督にも可愛がられてモリモリ仕事をした。一年をただずにグングン名が出て高千穂ひづるに次ぐ京都の若手新進スターにノシ上って行った。ところが今年の春新東宝の危機に際し、渡辺監督が製作本部長として乗込むことになったとき、渡辺本部長は東映で育てた宇治みさ子ほか子飼いの一党を引出ものとして引連れて行った。彼女も最初こそ〝故郷へ錦を飾る〟思いだったらしいが新東宝ではサッパリ…

さん（エノケンのこと）にとう口説き落されました。ぼく自身のとった考えに間違いがあったとはいまでも思っていませんが、オヤジさんもああいってくれるので、月並…

一両NDT野球チームの二番打者、中堅手としてしばしば好守好打を示すというスポーツマンらしいところもある。昭和七年十二月生れというからこの暦でまだやっと二十三…

親分がマキノ雅弘だ。何…宝の大当りシリーズ『清水次郎長』一家であり、同僚には河津清三郎、森繁久弥、小堀明男、…城の方角（マキノ監督邸のある）へなんぞ足を向けて寝たことは…』というのも当然かもしれない

▽…日活『人生とんぼ返り』は戦前に月形龍之介が演った『殺陣師段平』の再映画化で演出も前作同様マキノ雅弘があたっている。

▽…そこでマキノ監督は十八番の殺陣を自ら振付けて段平の森繁久弥に教えているのだが、これを映画では森繁が沢近役の河津清三郎に教えるといいやとして、森繁が『先生、直接やっていただけないでしょうか』いやはや大変な殺陣師もあったもの。【写真は森繁久弥】

はと笛

『思い出』ぐるみ店を売る

近藤玲子のお道楽商売見事失敗

ジャ―ニーで乗りつける黛、桂木夫妻

スターのいる町

銀座界隈（その六）

（思）い出を売る男』という芝居があった。亡くなった加藤道夫の作品だが、この戯曲に惚れたのがバレエの近藤玲子（貝谷八百子の姪）で、戯曲をバレエ化して二度も上演している。とかくおセンチなご婦人のことだから、題名が大変気に入ったのかもしれないが、彼女は銀座西四丁目の裏通りに『思出を売る店』なる喫茶店兼バーを開業した。今年の春のこと。ところが半年も経たぬ間に経営難から『売り店』になって人手に渡り、いまや彼女にとってはただの『思い出の店』になってしま…

近藤玲子　桂木洋子

…は本当に銀座がお好きなようだ。先だっては並木通りにこのジャガーとスチュードベーカーのクリーム色54年型2ドアが二台前後に並んで駐車していた。ベーカーの方は芥川也寸志の車。大方どこかのバーかレストランで、『三人の会』（もう一人は団伊玖磨）…

グレイ紳士は彼女が仕事に使う衣裳のデザインを頼んだGというデザイナーで、合乗りもそれっきりのことだったということが判明してケリとなった。

（原）孝太郎六重奏団が専属になっているシャンソン喫茶Gというのが東七丁目にある。ここの専属歌手で歌っているのは寄多川悠子という新人でまだハタチにならぬ少女だが、フランス語の発音も正確なら、歌いっぷりにも年には似合わぬ表情があるとて、なかなか人気があり、金百円のコーヒー代を払って毎日きき来るファンもかなりいる。同じくナマの音楽をきかせるにして…

エノケンの後継へ？

一年生からやり直し

▽…ステージを去る決意をした柳沢真一が、エノケンの熱意あふれる説得によってヴォードビリアンとして再発足することを誓ってまだ日が浅い。エノケンのいうところはこうなのだ。『まだ若いのにあんまり割切り過ぎる。歌のうたえる喜劇役者が全然いないといっていい現在、身を退くなどというのはもったいない話だ。もともときらいで入ったこの道でなし、役者として成長することが一番いいんじゃないか。ジャズ・シンガーの看板さえ降してしまえばそう責任を感じる必要もなしなんでも気楽に歌えるだろう』彼にいわせると『オヤジかして育てたいエノケンの真情といっていいだろう。

▽…これで肩の重荷が下りました、という彼の表情は明るい。『踊るキャバレー』の支配人『アチャラカ誕生』の義経と木佐野、心ある人は彼のどこか年に似ぬ飄逸な味を忘れ得ぬことだろう。年に似ぬといえばフダン着の彼は年に似ぬ渋好みだ。落語を愛し、和服を好み、ファンの女の子からワイワイ騒がれるのが最も苦手だという。〝若い人〟らしくないとカゲ口をたたくものも出てくる所以だ。そのえば簡単だが、今日までそれらしき人といえばやっぱりエノケンぐらいしかない。彼が今後どのような形でその決意のほどを見せてくれることか、世間から期待をかけられているだけに道はこれまで以上に険しくなることを覚悟せねばなるまい。ガムシャラになることのできる情熱と稚気をもう一度とりもどしてほしいものである。

…る会の席上で彼に『お前を俺の二代目にしてやる』ともいったことがあるそうだ。自分たちの次代を継ぐ者をなんと…

今週の顔　柳沢真一　（H）

辰巳のはまり役

王将一代（新東宝）

映画やぶにらみ

▽…将棋を指す以外は殆ど無能力に等しい。大阪天王寺の裏長屋にボロ屑のような毎日を送りながら、それでもなおまるで子供のように喜々として将棋をさしている。こんな〝阿呆〟ともいえるような奇人坂田三吉の生涯を描いた北条秀司の原作で、すでに新国劇の舞台でも当りをとり、伊藤大輔・阪妻のコンビで映画にもされている。この作品は同じ伊藤監督によりその前篇に相当する部分が再映画化されている。

▽…坂田三吉（辰巳柳太郎）を専門棋士に仕立てあげ、関東に独占されている名人位を大阪に奪還させようというねらいから後援会

（三島雅夫、田中春男）がうまれる。朝から晩までただ将棋を指していれば良いのだと聞かされて夢のようによろこぶ三吉も、やがて将棋連盟のあつれきやらでいやいや〝関西名人〟を名乗らねばならない羽目になる。子供のように天真らんまんで無知な男が、どうにもならない周囲の勢いに押しながされて、本能的に人間の苦悩といったものを味う姿にこの作品の焦点が合わされているわけだ。

▽…辰巳がすでに手なれた役だけにこの〝将棋の虫〟のような男をのびのびとこなして風格をみせる。だから部分的にはかなり重厚な味が盛上るのだが、年代を追っている故もあって、これが時々ポツンポツンと途切れる感じなのは惜しい。妻（田中絹代）とのとっぴな愛情の描き方も表面的で物足りない。（静）【写真は辰巳と香川京子】

ラジオとテレビ

1日（土）

時	★NHK第1★ 590KC	★NHK第2★ 690KC	★ラジオ東京★ 950KC	★日本文化★ 1130KC	★ニツポン★ 1310KC
6	00 子供のシンブン◇室生寺物語（語り手）万代峰子 40 スポーツだより	05 英語会話 松本亨 15 記者手帖から 30 大相撲秋場所十四日目実況―蔵前国技館から中継―【解説】玉の海梅吉 伊勢の海五太夫	10 東西こぼれ話 高野アナ 15 スイート・コンサード 25 ぴよぴよ大学 河井坊茶	00 劇『少年宮本武蔵』 10 おばあちやんと一しよに 小唄勝太郎 泉友子ほか	00 音楽 12番街のラグほか 15 劇『覆面の騎士』 30 歌謡曲 鈴木正夫集
7	00 ニュース◇天気予報 15 録音ニュース 30 二十の扉（新聞記者の二十の扉）司会長島金吾		10 録音ニュース 20 ホームソング 奈良光枝 30 どうしましよう 司会・小野田勇	00 録音ニュース 10 マントバーニ楽団ほか 30 アベツク歌合戦 トニー谷 石井亀次郎ほか	00 ラジオ夕刊（耳の新聞） 20 花のステージ歌内田正人 30 ❶漫才 ひろし・まり❷落語『今戸焼』三笑亭可楽
8	00 思い出のダンス音楽集 淡谷のり子 三好百合子他 30 とんち教室―藤沢市から 石黒敬七 北原文枝ほか	05 映画音楽 ロンバーグ名曲集 解説清水光雄 30 青年学級の友へ『これからの結婚』 丸岡秀子他	00 深緑夏代シヨウ―バラ色の月に『ルナ・ロツサ』他 30 浪曲・次郎長伝『荒神山』第七回 広沢虎造	00 素人ジヤズのど自慢 水の江滝子 テイーヴ釜范他 30 ヒツトパレード 歌ブラツツイ フランソワほか	00 家族ゲーム 千葉信男 河井坊茶 30 雪村いづみシヨウ『オー・マイン・パパ』ほか
9	00 ニュース解説 藤瀬五郎 15 連続放送劇『おけらの歌』宇野信夫作 尾上鯉三郎他 40 時の動き	00 教養特集『戦後十年ジヤーナリズムの歩み』 千葉雄次郎 青野季吉 坂西志保 池田潔	10 歌謡曲 高田浩吉 岡晴夫 奈良光枝 霧島昇ほか 40 劇『雷竜』来宮良子 湊俊一 島田友三郎ほか	00 松竹新喜劇『泣き笑い芝居横丁』渋谷天外ほか 30 劇『この世の花』真木恭介 前沢迪雄 津村悠子他	00 劇『太郎行くところ』司葉子 大川太郎ほか 30 コメデイ『古今東西恋物語』岩井半四郎ほか
10	15 今週のニュース特集 40 幸福を拾つた話 市村俊幸 宮城まり子 黒柳徹子	00 高校学校講座❶世界史 中村英勝❷英語 梶木隆一 45 気象通報	03 きようの土俵から 15 『扇雀の父』鴈治郎ほか 30 美空ひばりシヨウ	00 大学受験秋期実力養成講座 英文法野原三郎 30 国語（古文）富倉徳次郎	00 歌謡曲 春日八郎 若原一郎 津村謙ほか 35 スポーツ・カレンダー
11	05 天気予報◇番組予告 20 『菊人形』山田徳兵衛	00 家庭と学校◇子供の作文 今井誉次郎 荒木千春子	08 きようのニュースから 17 音楽の星座 ハイドン曲	00 DXニュース 福士実 20 コステラネツツ楽団集	00 唄ごよみ 二三吉ほか 15 座談会『新聞への注文』

テレビ

★NHK★ ◆5・00 親子クイズ 田中明夫◆5・30 大相撲秋場所十四日目実況◆7・44 海外ニュース◆8・00 映画『長崎の歌は忘れじ』ロールマン 京マチ子，久我美子ほか◆10・05 ニュース◆10・20 週間ニュース

★NTV★ ◆5・00 大相撲秋場所十四日目実況◆7・50 猛獣映画『ジヤングル』◆8・30 素人のど競べ 水の江滝子◆9・00 ホームトピツクス◆9・15 なんでもやりまシヨウ◆9・45 テレビごよみ◆9・55 『轟先生』

★KR★ ◆5・00 大相撲秋場所十四日目実況―ひき続き◇気象ごよみ◇東京テレニュース◆8・20 三つの物語『失われた紅真珠』旭輝子ほか◆9・20 朝日TVニュース◆9・30 探偵劇『日真名氏飛び出す』久松保夫ほか

あすの番組

NHK第1	NHK第2	ラジオ東京	日本文化	ニツポン
8・05 音楽の泉 歌劇『修禅寺物語』解説堀内敬三 9・15 今日は皆さん宮田アナ 9・45 経済時評 堀江薫雄 10・30 声くらべ子供音楽会 11・25 講談親らん 宝井馬琴	7・15 科学ゼミナール育種理論の進展 倉石武四郎 8・00 宗教の時間 9・00 読書案内 岡本太郎他 10・00 囲碁将棋の時間 1・00 唱歌コンクール大会	8・40 週間録音ニュース 9・10 ちえのわクラブ 10・30 交響組曲シエラザード 11・05 ミュージツクアルバム 12・10 素人うた合戦（大塚） 1・35 落語『お七』円生	8・25 みんなのメロデイ 9・30 ウエインキング合唱団 10・30 肌を白く 中村敏郎他 11・00 陽気な一家 関弘子他 12・00 日曜寄席 A助B助他 1・00 歌の玉手箱 今村アナ	8・45 歌森繁久弥 鶴田浩二 9・45 奥様こんにちは 10・30 歌はあなたとともに 11・00 お母さん教室（ゲーム） 12・00 職場対抗のど自慢 1・00 電報クイズルイカー